

事後評価シート

コード 8-4-2	事務事業名 私道の整備	所管部課 都市整備部道路管理課
--------------	----------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 排水施設等の設置を併せた生活及び交通環境の向上	事業の区分 <input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 行革項目 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事務事業
	実施内容、実施方法 私有道路土地所有者の承諾書を添えて申請された私道の舗装工事を行う。	根拠法令等 私道舗装及び私設下水道に関する条例 同条例施行規則
	事業開始時期 合併前から	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

評価指標の設定	活動指標名 補助金交付件数	活動指標の考え方(定義) 申請に基づき工事実施(私道整備)した件(路線)数
	成果指標名 1次 実施面積	成果指標の考え方(定義) 1次 工事実施面積
	1次 整備率	1次 舗装工事(件数)中の排水施設等設置(件数)実施割合
	2次	2次

		単位	15年度	16年度	17年度	18年度
事務事業データ	事業費(A)		38,595	38,161	18,060	40,000
	国庫支出金	千円				
	都支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源		38,595	38,161	18,060	40,000
	所要人員(B)	人	0.78	0.75	0.50	0.75
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	6,488	6,221	4,086	6,176
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	45,083	44,382	22,146	46,176
	単位当たりコスト (E)=(D)/ (補助金交付件数)	千円	1366	1479	1166	1539
	歳入	千円				
	活動指標	目標値				
		実績値	件	33	30	19
	活動指標	目標値				
実績値						
1次成果指標	目標値					
	実績値	m ²	8,331	6,838	3,062	6,900
1次成果指標	目標値					
	実績値	%	9	17	37	33
2次成果指標	目標値					
	実績値					

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	市民(私有道路土地所有者)からの要望は多い
	26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	一概に比較する事は難しいが、本市予算額は過大 (小平市に次いで第2位の額 / H15、16事業調査による)
	運営上の制約条件・ 外部要因等	

コード 8-4-2	事務事業名 私道の整備	所管部課 都市整備部道路管理課
--------------	----------------	--------------------

【事業所管部評価】

検証項目	選択基準	ランク	選択理由、特記事項等	
1 目的の適切さ・目標	目的の妥当性	1 上位施策の目的と一致していない・上位施策がない。	▼	1
	目標の妥当性	1 目標に関する検討を何も行ってない	▼	1
	緊急性	1 事業開始時と比較すると実施意義が大きく低下している、または目的は達成された	▼	1
2 市が関与する必要性	法的義務性	3 法律での規定はないが条例で実施することが規定されている	▼	3
	必要性	1 希望する一部の市民等以外にあまり関係がないサービスである	▼	1
	民間との役割分担	1 民間団体が同種のサービスを十分提供し、質または量が上回っている	▼	1
3 内容の適切さ	ニーズ	1 市民(市内)ニーズが把握できていない、または、ニーズ把握が曖昧で説明できない	▼	1
	規模・方法の妥当性	1 事業規模や方法は過去を踏襲しており、特に見直していない	▼	1
	公平性	3 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民または団体が対象である	▼	3
4 実施手続の適切さ	有効性	5 これまで質・水準の改善に積極的に取り組んできており、成果が向上している	▼	5
	効率性	1 具体的な計画や目標等に基づいたコスト低減には特に取り組んでいない	▼	1
	独自性	5 国・都及び市内には同種の目的を有する他の事務事業はない	▼	5
合計				24

	評価結果	判断理由、説明等
総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	事業開始当初の主目的は「未舗装(砂利)道の改善」と推測するが、現状は「老朽化に伴う舗装打替え工事」という要望が多くを占め、「排水施設等の整備をあわせた生活・交通環境の改善」という目的に合致しているとは言いがたくなっている。 「当初目的は達成した」との判断のもと、私道舗装及び排水施設補助を統合し、新たな補助制度を検討する必要がある。

18年度における改善点	
-------------	--

二次評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	排水施設と同様に、私道舗装についても自己負担(公共性の高さに応じた負担率)を導入し、両制度を統合した新しい補助制度を創設すべきである。 本市は、他市と比較し予算規模が著しく高いため、他市の状況を踏まえ、適正な予算規模にすべきである。
------	---	---

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	二次評価記載のとおり、本市は予算規模、申請件数とも26市において突出している。本事業においても受益者負担の観点から、自己負担制度を導入し、排水施設補助と統合した新しい補助制度の創設を検討する必要がある。ただし、その場合は一定の周知期間を経た後に実施する必要がある。
--------	---	--